

【トラック5】

まる「あ～～…はあ～～～～…ああ～～～」
まる「あつー、なんかジメジメもするし…蒸し暑うー」

まる「あ、お兄さん…いらーさーせー…」
まる「え？やる気？そりゃこうもなりますよ…」
まる「なになって、エアコンですよエアコン！」

まる「なんかちょ～っと調子が悪いなあと思って色々試してみたら…急に動かなくなっちゃってえ～お～い
おいおい…」

まる「試したこと、ですか？…電源入れたり抜いたり、ぽちぽちしたり…」
まる「最終的にはフィジカルなやり方に行きついてですね…こうバシッと」

まる「修理業者に連絡してもすぐには来られないそうなので…」
まる「仕方なく今日は蒸し暑い中営業しています」
まる「褒めてください、そして修理代相当の注文をしてください」

まる「あー待って！お兄さん待って！普通の注文でいいですからっ！」
まる「Uターンしようとししないで…！マルを一人にしないで！」

まる「はあ…でも、よりによってこんな暑い日にエアコンが壊れるなんて…」
まる「ツイてないですねえ」
まる「まあ、もともとこの建物自体、老朽化が進んでいるそうですけど…」
まる「築年数も古いですし、路地裏で立地も分かりにくいですし…」
まる「それでも、まるにとっては拠り所となる大切なお店なので…大事にしないとですね～」

まる「っと、そんなことよりも…」
まる「今日のご注文は何にしますかぁ？」
まる「そうですねー、暑いんでアイスとかどうです？」

まる「なんと普通のアイスがですね…」
まる「マルが「まるまるきゅんきゅん」と魔法をかけるとあら不思議！」
まる「とても官能的なお味に…」

まる「お値段今ならなんとエアコン不調割引でさんぜんえ…」
まる「って、お兄さん聞いてますかぁ？」

まる「もー、マルが可愛いからってそんな体をジロジロ見て…」
まる「今日はお部屋が暑かったせいで、ちょ～っと汗も臭うのですが…」

まる「むむう～？ それとも、もしかしてえ…」
まる「お兄さんに近づいて…ほらあ、こんなに汗かいちゃいましたあ♡」
まる「暑くて、服をパタパタすると余計マルの匂い…広がっちゃいますう？」

まる「あれあれ？ マルが近づくとも～っとドキドキしちゃいますう？」
まる「くすっ、お兄さんてえ、女の子の汗とかに興奮しちゃうタイプ？」
まる「変態さんだからありえますよねえ～♡」

まる「汗の匂いとか…女の子の、メスの香りもお好きですかぁ？」
まる「ほらあ…マルの体からあ…エッチで蒸れた…むわあつとした匂い感じますう？」
まる「遠慮しないで嗅いでいんですよ？」

まる「くすっ、そんな必死に言い訳しなくても大丈夫ですう♡」
まる「ほら、ここ…もうちんぽ勃起してるじゃないですか♡」

まる「マルの足とかぁ、脇とかぁ...おまんこの濃厚でエッチな匂いを嗅げる...」
まる「特別なコースがあるんですけどぉ...どうですかぁ？♡」

まる「お兄さんは運がいいです...今日は部屋が蒸し暑くて、いつもより熟成された...」
まる「きっとお兄さん好みの、むわあつとしたエッチな匂い、嗅げますよぉ♡」

まる「マルのメス臭で頭いっぱいにして...いつもの乳首お射精、したいですか？」
まる「くすっ...本当にどうしようもない変態、ですね♡」
まる「ご注文、ありがとうございますー♡」